

V. 調査の結果

前述の調査結果を踏まえ、以下に概要を整理した。

I 調査事業の概要

中部国際空港やその周辺エリアにおいて、「MICE を核とした国際観光都市」の実現を目指し、当地域における魅力ある機能整備の具体化に向け、機能整備の方向性や諸条件等について調査・検討を行った。

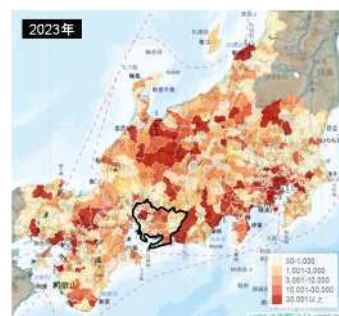
II 基礎情報の整理

愛知県に関する基本情報の整理を行った。

愛知県来訪者の推移（ビジネス目的）



訪日外国人旅行者の来訪状況



III 機能整備の方向性、諸条件等の調査・検討

国際観光都市に相応しい With/After コロナの MICE を推進していくために必要となる要素を検討するため、昨今の MICE を取り巻く動向や他地域の取組を調査した。

1 現状分析

MICE の開催や運営については、人やモノがダイナミックに移動し、経済的・社会的に大きな効果を生み出す一方で環境負荷が高いことが課題であり、SDGs を意識した MICE が世界標準になっている。このような潮流の中で、国内の主要な MICE 開催都市においても、サステナビリティに配慮した取組が進められている。

国内の MICE 開催都市におけるサステナビリティに係る取組例

東京都	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東京都 MICE 誘致戦略 2023 の策定 ○ TOKYO MICE サステナビリティガイドラインの策定 ○ MICE テクノロジー導入ガイドラインの策定
大阪府・大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大阪 MICE 誘致戦略の策定（MICE のデジタルシフトの推進） ○ SDGs をテーマとする国際会議や展示会等への新たなインセンティブの創出 ○ SDGs for MICE 評価制度の開始
札幌市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 札幌市 SDGs 未来都市計画（2021～2023） ○ MICE のサステナビリティを図る国際的な評価指標「GDS-Index」への参加 ○ 環境に配慮した大型コンベンション施設

神戸市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 神戸市 2050 年カーボンニュートラル宣言 ○ (一財) 神戸観光局による KOBE SDGs 探求プログラムの開発 ○ 日本の歴史・文化の魅力を体感できる文化財・ミュージアムの整備
------------	--

2 国際観光都市として相応しい取組の方向性の調査・検討

MICE の開催や運営にあたって、サステナビリティに関する取組が求められていることを踏まえ、国際観光都市として相応しい取組の方向性の調査・検討のため、各施設や事業者における先進的・特徴的な事例について調査を行った。

各施設や事業者における事例

国際会議場・ 展示場施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ バリアフリー設備（車いす対応等）の充実化 ○ 太陽光パネルの設置、屋上緑地化、LED 化の促進、資料のペーパーレス化 ○ MICE 人材の育成
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ HP での多言語対応、多国籍従業員の積極的な採用 ○ 地元農家との食材連携、地元産材の活用 ○ ユニバーサルデザインの推進
エンターテインメント施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ WHILL（近距離モビリティ）の導入 ○ コンテンツにおいて VR 内覧システムの導入 ○ 観光 PR の実施による周辺観光産業の振興
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な MICE 人材（障がい者や高齢者、外国人等）の受入 ○ 自走式ロープウェイの開発による移動の円滑化 ○ 遠隔アバターによる接客サービスシステムの導入

3 まとめ

前述の事例調査を踏まえ、国際観光都市に相応しい魅力的な機能整備を行うにあたり必要となる取組の方向性について検討を行った。

主な取組の方向性

<p>■環境負荷低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 屋上緑化や壁面緑化等のグリーンインフラの活用等による省エネルギーへの配慮 ○ 環境負荷低減を可能とする移動手段の導入と公共交通機関への利用促進 ○ 食品残渣の再利用等の食品ロス対策 <p>■ダイバーシティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ MICE 施設での多言語対応や多国籍の従業員の採用 ○ 様々な宗教や主義を有する来訪者のニーズに応じた受入環境整備の推進 ○ 多様な人材（高齢者や障がい者等）の MICE スタッフとしての登用の推進 <p>■イノベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルツールの導入による人手不足への対応や生産性向上 ○ エンターテインメントにおける DX 導入によるコンテンツの魅力向上

- 施設内回遊バスや移動用ゴンドラ等の導入による MICE 参加者の快適な移動のサポート

■その他

- 地元産材の活用による地域産業の維持の貢献
- 駐車場料金のダイナミックプライシング等によるオーバーツーリズム対策の実施
- ユニークベニューの活用による文化施設の持続性の寄与
- MICE 関連の人材の担い手創出と育成の推進